

(データ日付は現地2019/1/21)

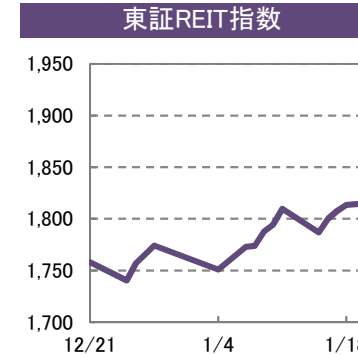
(グラフ期間は直近1カ月)

株式(円、米ドル)	終値	前日比
日経平均株価	20,719.33	+53.26
NYダウ工業株30種	休場	

REIT	終値	前日比
東証REIT指数	1,815.53	+2.00
NAREIT指数	休場	

国債利回り(%)	終値	前日比
日本10年	0.008	▲0.008
米国10年	休場	

為替(対円レート)	前日比
米ドル	109.66 ▲0.11
豪ドル	78.51 ▲0.19
加ドル	82.49 ▲0.32



市況コメント

【国内株式市場】

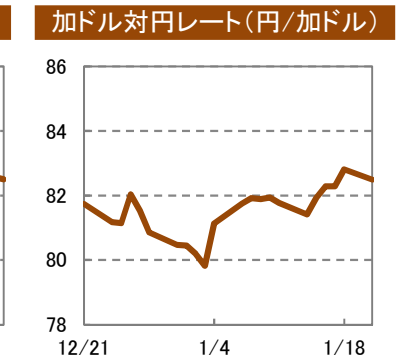
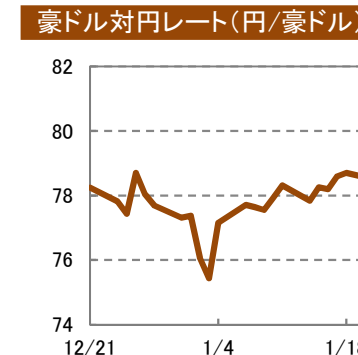
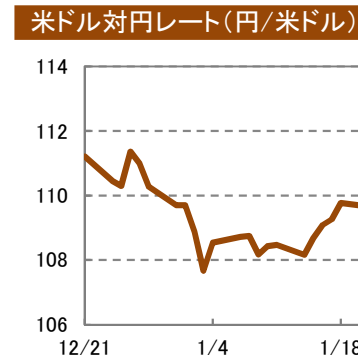
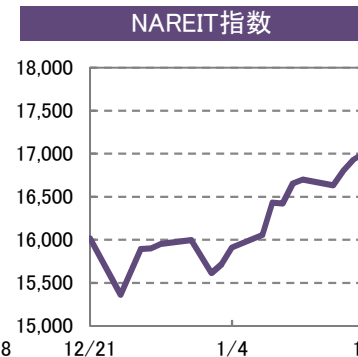
1月21日の日経平均株価終値は20,719.33円で、前営業日比+53.26円、+0.26%と続伸した。米中貿易交渉の進展期待を背景に上昇をみせた前週末の米国株式市場の流れを引き継ぎ、買い先行で取引を開始。円安米ドル高の進行も支援材料となり幅広い銘柄が買われたが、相場の戻りを狙った売りに押され、上値の重い展開に。21日の米国市場が休場であることも商いを薄くし、引けにかけて狭いレンジ圏での推移となった。

【海外株式市場】

キング牧師生誕記念日のため米国市場は休場。

【為替市場】

米ドル円レートは、東京22日7時(NY21日17時)現在、1米ドル=109.66円で、前営業日比▲0.11円と小幅に円高米ドル安が進行した。米国休場のため市場参加者が減少する中、全体を通して動意薄に。22、23両日に日銀の金融政策決定会合、24日にECB(欧州中央銀行)の定例理事会が開かれることも様子見姿勢を強める要因となり、米ドル円は小幅な値動きに終始した。英ポンドはEU離脱協定の代替案提出を控え主要通貨に対して一時売りが優勢となるも、メイ首相がEU(欧州連合)離脱交渉に関して議会とより向き合っていく姿勢を示したことが好感され、持ち直す展開となった。



(出所)ブルームバーグ

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。■また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。